

中野市辺地対策総合整備計画

平成 30 年度 ～ 平成 34 年度

平成 29 年 10 月

中 野 市

総合整備計画書

長野県 中野市 ^{ながえほくぶ}永江北部辺地

辺地の人口85人：面積3.2km²

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称 水上・西原・池ノ平・ヤチ・月夜嶽・菖蒲平・鳥屋峯・牛池・
 抜間尻・堤・前田・大林・家老地・十二林・月尾根・懐石・堤
 下・地高・黒穂・干場・日泥・台・海道端・高瀧・池下・大平・
 長澤・抜間

(2) 地域の中心の位置 字 西原

(3) 辺地度点数 136点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、市北西部の高地に位置し、2集落を含めた範囲は、蕎麦・野菜・水田を耕作する地域である。

両集落は共に急峻な地形に人家が点在し、生活道路も急こう配で幅員が狭く、冬期は積雪が非常に多く、積雪のたびに除雪作業と幅員確保のための排雪作業を要し、その対応は地域に密着して行う必要がある。

このため、除雪機械の出動回数、稼働時間の何れも長く機械の増強を要する。

また、こうした道路の現状を鑑み、当該区域専用の排雪機械の導入も併せて要する。

この辺地事業を進めることにより、安全・安心で快適な住民生活の維持向上と産業振興が図られる。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から34年度までの5年間

(単位:千円)

施設名	区分 事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
除雪機械増強事業	中野市	34,442	0	34,442	34,400
合計		34,442	0	34,442	34,400

総合整備計画書

長野県 中野市 ^{みつや}三俣辺地

辺地の人口 99 人 : 面積 1.8km²

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 赤坂・稲澤・家添・大平・雨池・北原道上・北原道下
 (2) 地域の中心の位置 字 家添
 (3) 辺地度点数 115 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、市北部に位置しており、飯山市と接する市内でも有数の豪雪地である。中央に一般国道 117 号が整備されており、道路交通の要衝でもあることから、周辺市道の除排雪も同等レベルを要求され、除排雪機械の増強を要する。

また、平成 28 年 10 月の国道全線開通に伴い交通量が飛躍的に増大しており、通過車両の速度も高いため、その接続市道には凍結による危険回避のための融雪剤散布機材の導入も併せて要する。

豊田飯山IC近くにある道の駅は、年間を通じて食事や休憩等の利用者が多く、時代に即した情報通信環境の整備が望まれており、セキュリティ対策の万全な公衆無線 LAN の整備により、県内外からの利用者の利便性向上と安全なインターネット環境の確保が見込まれる。

この辺地事業を進めることにより、住民の生活環境の向上と地域発信力の強化が図られる。

3 公共的施設の整備計画

平成 30 年度から 34 年度までの 5 年間

(単位:千円)

施設名	区分 事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
除雪機械増強事業	中野市	41,710	0	41,710	41,600
公衆無線LAN環 境整備事業	中野市	4,158	0	4,158	4,100
合計		45,868	0	45,868	45,700

総合整備計画書

長野県 中野市 ^{おくでやま} 奥手山辺地

辺地の人口77人：面積1.1km²

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 谷池・水無・宮ノ腰・横吹・北平・河原・宮脇添・啼損・蟹沢・日向
- (2) 地域の中心の位置 字 河原
- (3) 辺地度点数 109点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、北西の山間部と千曲川に挟まれた場所に位置し、冬期間は積雪が多く道路も狭隘であるため、住民の生活路線の確保が必要である。

除雪の出動回数、稼働時間の何れも長く、除雪機械の増強を要する。

更に、道路の排雪機能の強化のため、当該区域専用の排雪機械の導入も併せて要する。

この辺地事業を進めることにより、住民の安全及び生活環境の向上、産業振興が図られる。

3 公共的施設の整備計画

平成 30 年度から 34 年度までの5年間

(単位:千円)

施設名	区分 事業 主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
除雪機械増強事業	中野市	26,442	0	26,442	26,400
合計		26,442	0	26,442	26,400

総合整備計画書

長野県 中野市 ^{こめやま}米山辺地

辺地の人口51人：面積1.2km²

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 袖久保・立石・城山・八重成・今井境・大久保・向山
 (2) 地域の中心の位置 字 大久保
 (3) 辺地度点数 113点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、市内西部の急斜面にあり、標高も高く、積雪の多い地域である。

生活道路は急こう配で曲がりくねった道路は幅員も狭く、対向車とのすれ違いもままならない状況である。冬期の的確な交通確保のため除雪機械の増強を要する。

加えて、道路の排雪機能の強化のため、当該区域専用の排雪機械の導入も併せて要する。

温泉を活用した交流施設は地元住民をはじめ、市内外からの利用者も多く、時代に即した情報通信環境の整備が望まれており、セキュリティー対策の万全な公衆無線LANの整備により、利用者の利便性向上と安全なインターネット環境の確保が見込まれる。

また、源泉からの送湯管も耐震化されておらず、度重なる地震で送湯量が低下しているため、耐震管への布設替えが急務である。

この辺地事業を進めることにより、産業振興及び住民の安全、生活環境の向上が図られる。

3 公共的施設の整備計画

平成30年度から34年度までの5年間

(単位:千円)

施設名	区分 事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
除雪機械増強事業	中野市	15,840	0	15,840	15,800
公衆無線LAN環境整備事業	中野市	4,385	0	4,385	4,300
温泉管耐震化事業	中野市	39,320	0	39,320	39,300
合計		59,545	0	59,545	59,400